

発注企業動向調査結果

-2018.10-

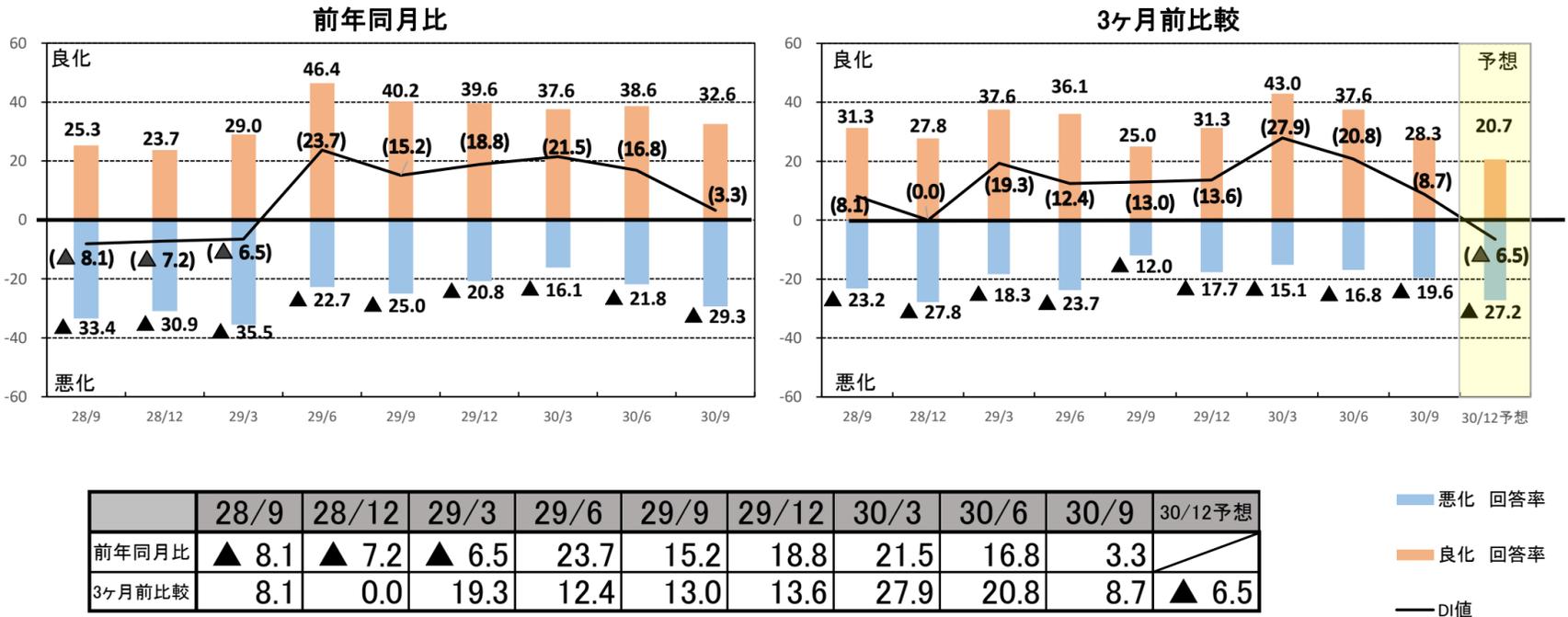
- 調査時点 平成30年9月調査(平成30年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業93社(回答率:62.0%)

<業種内訳>

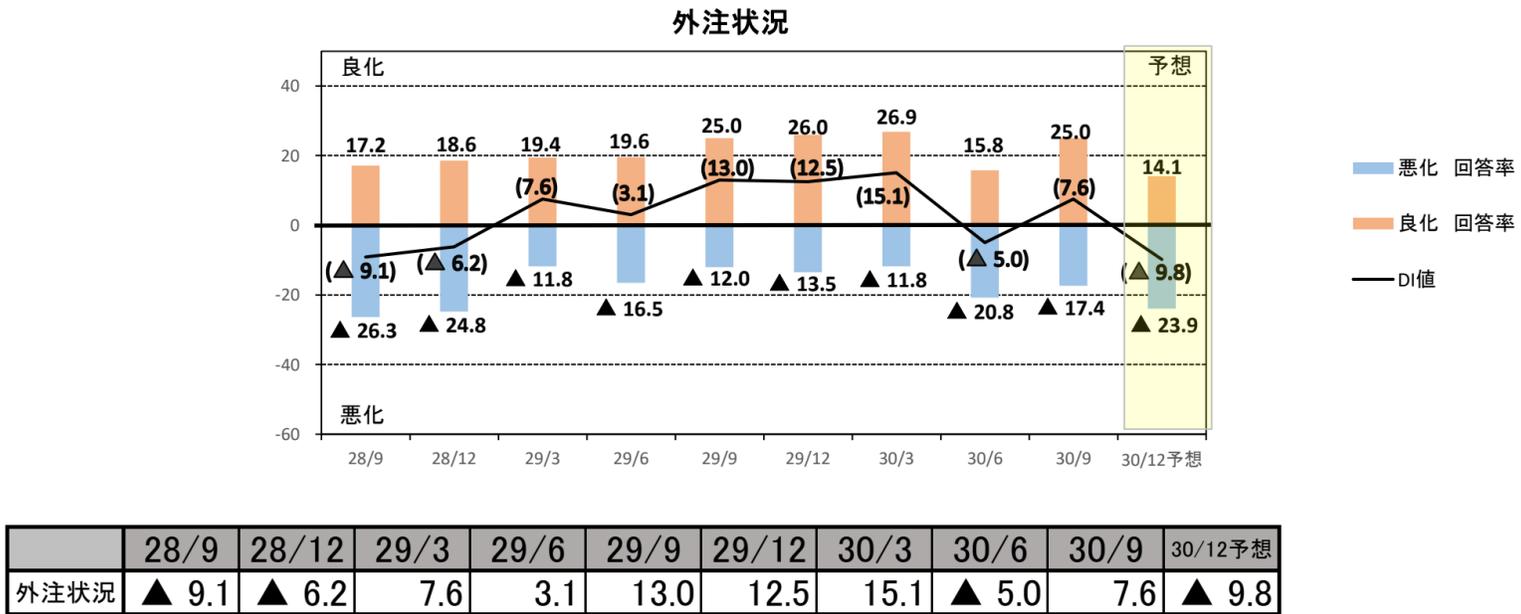
プラスチック	11社
鉄鋼・非鉄	12社
金属製品	12社
一般機械器具	14社
電気機器	18社
輸送用機器	15社
精密機器	4社
縫製	6社
計	92社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは3.3で前回の16.8から13.5ポイント減で悪化となった
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは8.7で前回の20.8から12.1ポイント減で悪化となった
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は7.6で前回の▲5.0から12.6ポイント増で改善となった
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲6.5で15.2ポイント減の悪化、外注状況が▲9.8で17.4ポイント減の悪化という予想になった。
- ・その他自由意見として、仕事量増加により外注業者の負荷が大きくなっている、協力工場に期待せず社内生産力を高める、車載関係・産業機器関係・医療機器関係の受注が拡大している等の意見があった。